

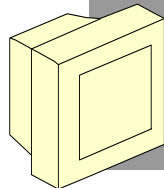
放送行政はどうあるべきか

イギリス BBC 放送に見る

国家から独立した機関とは

(放送の独立行政委員会)

イギリスの視聴者運動の現状



講師：門奈 直樹(もんな なおき) 氏
1942年生まれ。立教大学名誉教授。京都産業大学経営学部ソーシャル・マネジメント学科教授。専門は、ジャーナリズム、マスコミュニケーション論、危機管理とマスメディア。とくにイギリスのメディア研究、放送制度、メディア政策に詳しい。

著書に「現代の戦争報道」(岩波新書)、「民衆ジャーナリズムの歴史－自由民権から占領下沖縄まで」(講談社学術文庫)、「ジャーナリズムの科学」(有斐閣選書)、「アメリカ占領時代・沖縄言論統制史－言論の自由の闘い」(雄山閣)など。

* 独立機関が世界の潮流

日本では総務省が放送局を規制監督しているが、世界では政府から独立した機関が監視するのが主流。

民主党は今国会に「新通信・放送の融合法案」を出そうとしている。これは、自民党政権の答申を引きついだもの。

法案は、産業振興策の側面が目立ち、放送メディアの公共性・表現の自由が危機的との指摘がある。

政府は「今後の ICT 分野における国民の権利保障等の在り方を考えるフォーラム」で独立行政委員会構想を策定しているが、今、その行方は原口大臣の「放送の権力からの独立」発言の趣旨から離れるのではないかと危惧されている。(ICTとはInformation Communication Technologyの略)

独立行政委員会構想はどうなるのか。市民・視聴者が求める独立機関はどうあるべきか、学習しませんか。

BBC の目的(放送白書)

- ① 市民性と市民社会を支える
- ② 教育と学習機会の提供
- ③ 創造性や文化の鼓舞
- ④ 多用なコミュニティの反映
- ⑤ イギリスに世界の動きを、世界にイギリスの動きを
- ⑥ デジタル国家イギリスの構築

< 民主党のマニフェストより >

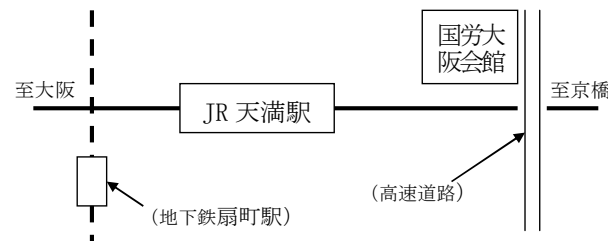
「国家権力を監視する役割を持つ放送機関を国家権力が監督する現行制度の矛盾を解消し放送に対する国の恣意的な介入を排除する」

とき 3月23日(火) 13:30～
ところ 国労大阪会館 地階

大阪市北区錦町2-2 ☎(06)6354-0661

JR 大阪環状線外回り天満駅東口北側を東へすぐ

資料代 1000 円



主催 NHK 問題京都連絡会 ・NHK 問題大阪連絡会 ・NHK 問題を考える会(兵庫)